

サステナビリティボンドのレポートについて

当社サステナビリティボンドの資金充当状況レポート及びインパクトレポートを以下のとおりご報告いたします。なお、記載した情報はいずれも令和8年5月31日時点のものです。

<資金充当状況レポート>

	グリーン適格プロジェクト	ソーシャル適格プロジェクト
項目	①鉄道車両の導入	
内容	【環境負荷の低い旅客鉄道輸送に資する車両】 輸送量あたりの CO2 排出量と比較した際に、自家用自動車やバスと比較して著しく少なく、環境負荷が低い交通手段である鉄道の車両の導入により、低炭素交通としての旅客鉄道輸送の機能発揮を実現	【車内空間の安全性・快適性の向上】 万が一事故が発生した場合のお客さまの生存空間を確保する、衝撃吸収構造や剛性を向上させた構体の採用 車体幅の拡幅による混雑時の圧迫感の緩和 視認性の高い車内案内表示器の搭載 全車両への防犯カメラ設置に加え、通話機能を有した非常通報器の搭載による車内のセキュリティの向上 現行車両よりも車両床面の高さを 50mm 低くすることで、ホームと車両との段差を縮小し、バリアフリーを促進 各車両にフリースペースを設置し、車いすやベビーカー等の利便性を向上 ドアの開閉を光の点滅および「ピンポン」音で知らせる「ドア開閉予告装置」や開いているドアの位置を「ピンポン」音で知らせる「誘導鈴機能」の搭載 手すり・吊手の利便性向上
資金充当状況レポート	【鉄道車両の導入に係る設備投資資金】 ・第5回無担保社債 調達金額：70 億円、充当金額：34 億円（未充当金額 36 億円）	

	グリーン適格プロジェクト	ソーシャル適格プロジェクト
項目	②旅客鉄道輸送に資する鉄道車両以外の設備全般の維持・改修・新設	
内容	【環境負荷の低い旅客鉄道輸送に資する設備】 ・環境負荷が低い交通手段である鉄道運行を支える設備への投資 【環境負荷低減に向けた個別の取組（エネルギー使用の効率化）】 トンネル照明の LED 化や、駅の空調機器等の省エネルギー性に優れた環境配慮型の機器への更新による、環境負荷の軽減 駅の空調機器等の中央監視システムの更新などを見据え、更なるエネルギー使用の効率化の実現に向けた BEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）導入の検討	【臨海副都心部の交通アクセスの確保】 効率的な大量輸送手段である鉄道による広域的な交通ネットワークの整備を通じて、内陸部の既成市街地との交通アクセスを確保 【安全・安定・安心輸送の確保】 バリアフリー法等に基づく、駅施設や鉄道関連設備整備により、お客様サービスの質的向上を実現 ホームドア エスカレーター 駅建築物の改良・改修 など 【災害対策の取組強化】 首都直下地震等の大規模災害発生に備え、施設・設備の安全性をより一層高める 高架橋等の耐震補強 浸水対策 など
資金充当状況レポート	【りんかい線第二期区間建設時における既存投資のリファイナンス】 ・第3回無担保社債 調達金額：80 億円、充当金額：80 億円（未充当金額 0 円） ・第4回無担保社債 調達金額：38 億円、充当金額：38 億円（未充当金額 0 円）	

<インパクトレポート>

	グリーン適格プロジェクト	ソーシャル適格プロジェクト
インパクトレポート	<p>【りんかい線における輸送量あたりのCO2 排出量】 令和7(2025)年度実績：19 g-CO2/人 km※</p> <p>【導入した車両の概要及び導入数】 車両概要：71-000形※※ 累計導入数：4編成 (うち、第5回債より2編成に充当)</p> <p>※電気事業者の排出係数(t-CO2/KWh)は環境省が公表している令和6年度実績の係数を使用 https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/r08_denki_coefficient_rev.pdf ※※車両の概要については、当社ホームページを参照 https://www.twr.co.jp/71000/tabid/382/Default.aspx</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんかい線第二期区間建設時の20年以上前に実施した鉄道事業固定資産※※※に係る既存投資のリファイナンス ・導入した車両の概要及び導入数 車両概要：71-000形※※ 累計導入数：4編成 (うち、第5回債より2編成に充当) <p>【アウトカム】 令和7(2025)年度りんかい線の乗車人員:85,872千人</p> <p>【インパクト】 安全・安定輸送の確保と安心の提供</p> <p>※※※主要な鉄道事業固定資産については、当社サステナビリティファイナンス・フレームワーク参照 https://www.twr.co.jp/enterprise/tabid/372/Default.aspx</p>

当社のサステナビリティファイナンス・フレームワーク、株式会社格付投資情報センター(R&I)によるセカンド・パーティ・オピニオン及び各サステナビリティボンドの発行概要については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.twr.co.jp/enterprise/tabid/372/Default.aspx>